

シラバス

科目名	ヘア&メイク基礎	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	徳重千鶴
対象学年	1年前期 ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	ブライダルの仕事につくにあたって必要な、ヘアメイクのバランスを学びます。特に1年では、メイクの基礎と応用を学びます。		
到達目標	1年生は、メイクを中心に学びます。自分で自分の顔をバランス良くメイクする。そして、相手の顔もバランス良くメイクする。		
授業の方法	初めに、デザイン画を描き、理論を学びます。前期は自分の顔をメイクします。後期は、モデルを常に変えて、色々な顔で相手に合ったメイクを学んでいきます。		
評価方法	メイクの実技テストが良くても、授業態度が極めて悪かった場合は、点数をあげられない事もあります。		
授業時間外に必要な学修	常に、流行や、TPOに応じたファッションバランスは、アンテナをたてていて欲しいです。		
使用教材教具	立て鏡、ティシュペーパー、ポイントメイク道具は自前で。スキンケアやその他は、学校に教材で揃えてあります。		
留意点	自分の顔や、相手の顔をモデルにして授業をするので、ノーメイクの状態では授業に参加する。		

授業計画	
1	1年間の流れを説明します。そして、生徒の中からモデルを選び、授業のファイナルイメージをデモンストレーションします。
2	「美」とは、健康の上に成り立ち、美しいメイクとは、健康で美しい肌の上に成り立ちます。肌の構造を学び、スキンケアの方法を学びます。
3	セルフメイク[自分の顔を自分でメイクすること] 「ベースメイク」 デザイン画制作、デモンストレーション、実習
4	セルフメイク 前回の復習と確認の実習、1人1人チェックする
5	セルフメイク 「目の下のクマ、要らない頬の赤み消し」、デモンストレーション、実習
6	セルフメイク 前回の復習と確認の実習、1人1人チェックする
7	セルフメイク 「アイメイク」 デザイン画制作、デモンストレーション、実習
8	セルフメイク 前回の復習と確認の実習、1人1人チェックする
9	セルフメイク 「一重、奥二重」の応用編メイク、デモンストレーション、実習
10	セルフメイク「眉」、デモンストレーション、実習
11	セルフメイク、前回の復習、1人1人チェックする
12	セルフメイク 「チーク」「リップ」デモンストレーション、実習
13	セルフメイク、前回の復習、1人1人チェックする
14	テストの流れと説明
15	セルフメイク 実技テスト
16	

シラバス

科目名	ヘア&メイク基礎	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	徳重千鶴
対象学年	1年後期 ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	学園祭という1つの集大成を形にすることで、自分の技術を客観的に見つめて、反省と目標を立て直していきます。学園祭が開催されないときも、到達目標目指して、学んでゆきます。		
到達目標	毎回違うモデルで実習することで、色々な対応が出来るようにしていきます。時代の流れや、良い学習方法が見えてきたら、随時、取り入れて行きます。		
授業の方法	前期と同じ		
評価方法	前期と同じ		
授業時間外に必要な学修	前期と同じ		
使用教材教具	前期と同じ		
留意点	前期と同じ		

授業計画	
1	学園祭準備
2	学園祭準備
3	相モデル、ベースメイク。ランダムに2人組を作る。これからは毎回組む人を変えます
4	前回の復習。1人1人チェックする。
5	相モデル「目の下のクマ、要らない頬の赤み消し」実習、1人1人チェックする
6	相モデル「アイメイク」、デモンストレーション、実習
7	前回の復習。1人1人チェックする。
8	相モデル「一重、奥二重」デモンストレーション、実習
9	相モデル「眉メイク」、デモンストレーション、実習
10	前回の復習。1人1人チェックする。
11	相モデル「チーク」、デモンストレーション、実習
12	前回の復習。1人1人チェックする。
13	相モデル「リップ」、デモンストレーション、実習
14	後期の実技テストの流れと、練習をします。
15	実技テスト
16	

シラバス

科目名	和装基礎 I	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	実技:斎藤 美智子 講義:中林 絵梨
対象学年	2年 プライダルビジネスコース	実務/一般	実務教員/一般教員
形式	実習・講義		
学修内容	実技(着付けの手順)、腰ひも、タオル補正について学ぶ。 講義:着物の種類や格、特徴を学ぶ。		
到達目標	一人着が出来る。 着物の扱い方、小物の役割を理解し、着物のトラブルにも対応できるスキルと現場で活かせる実践力を身に付ける。		
授業の方法	人数を半分に分け、実技と講義を週交代で実施する。		
評価方法	出席状況15%、授業態度5%、試験80%(実技40%、講義40%)		
授業時間外に必要な学修			
使用教材教具	浴衣・帯・腰ひも(1人2本)・伊達じめ・筆記用具・タオル・プリント		
留意点			

授業計画	
1	全体オリエンテーション
2	実技…補正・着物のたたみ方、腰紐のまとめ方 講義…季節と着分け、染と織、帯の種類、振袖
3	↓
4	実技…補正着物を着る・畳む 講義…留袖、紋の種類
5	↓
6	実技…補正着物を着る・畳む 講義…訪問着、付下げ
7	↓
8	実技…着物を着て帯び結び 講義…色無地、喪服
9	↓
10	実技…着物を着て帯び結び 講義…小紋、江戸小紋
11	↓
12	実技…着物を着て帯び結び、仕上げ 講義…浴衣、男性の着物
13	↓
14	期末テスト①(浴衣の着付)
15	期末テスト②(浴衣の着付)
16	

シラバス

科目名	和装基礎Ⅱ	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	実技:齋藤 美智子 講義:中林 絵梨
対象学年	2年 プライダルビジネスコース	実務/一般	実務教員
形式	実習・講義		
学修内容	実技で着付けの手順、小物、取り扱いを、講義で着物の種類や格、特徴を学ぶ。		
到達目標	一人着が出来て着物の扱い方が出来る。 小物の役割を理解し、着物のトラブルにも対応できるスキルと現場で活かせる実践力を身に付ける。		
授業の方法	人数を半分に分け、実技と講義を週交代で実施する。		
評価方法	出席状況15%、授業態度5%、試験80%(実技40%、講義40%)		
授業時間外に必要な学修			
使用教材教具	着物・帯・長襦袢・腰ひも2本・伊達じめ・帯締め・帯揚げ・筆記用具・プリント		
留意点			

授業計画	
1	実技…補正から長襦袢までと畳み方 講義…染のきもの 友禪
2	↓
3	実技…長補正から長襦袢までと畳み方 講義…織のきもの 紬
4	↓
5	実技…長襦袢から着物までと畳み方 講義…織のきもの お召
6	↓
7	実技…長襦袢から着物までと畳み方 講義…織のきもの 紺
8	↓
9	実技…着物を着て帯結び 講義…織のきもの 木綿
10	↓
11	実技…着物を着て帯結び 講義…織のきもの 麻、芭蕉布
12	↓
13	着付総復習
14	期末テスト①(小紋の着付)
15	期末テスト②(小紋の着付)

科目名	ブライダルコスチューム	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	朝月 愛美
対象学年	2年前期 ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務
形式	実習		
学修内容	ドレススタイリストの裏側の仕事である補正・メンテナンス業務を学び、即戦力を身に着けます。		
到達目標	生地の種類やドレスのタイプによる裁縫技術やメンテナンス方法の習得を目指します。		
授業の方法	衣装に関する知識や適切な扱い方を身に付けるために、実習形式で学んでいきます。		
評価方法	出席状況15%、授業態度5%、実技テスト80%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	他科目の授業にも意欲的に取り組み、ブライダルの知識を深め他の授業にも活かしてください。		
使用教材教具	ドレス・タキシード・衣装小物・裁縫道具		
留意点	特になし		

授業計画	
1	ガイダンス・ドレスメンテナンス ドレスの扱い方基本知識。練習布を使って個人の縫製レベルチェック。
2	フィッティング① インナーのフィッティング。相互のサイズを測り、自分自身のインナーのサイズを知る。
3	フィッティング② ウエディングドレス、カラードレスを実際に着て歩く。回数をこなして身に付けていく。
4	裁縫基礎知識①
5	裁縫基礎知識②
6	ドレス補正① 指定したサイズで補正
7	ドレス補正② 指定したサイズで補正
8	ドレス補正③ 指定したサイズで補正
9	夏SP準備。 夏SPに使用するドレスや小物のメンテナンス。ドレスのサイズチェック。
10	ウォーキング・アテンド ドレス着用時の歩き方や姿勢、アテンドを学ぶ。
11	夏SP準備
12	夏SP準備
13	ドレスメンテナンス方法
14	期末テスト 練習 ドレスフィッティングのテストの復習
15	期末テスト ドレスフィッティング
16	

科目名	ブライダルコスチューム	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	朝月 愛美
対象学年	2年後期 ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務
形式	実習		
学修内容	補正・メンテナンス業務を前期に引き続き学び、後期はヘアメイクの授業と連携し、グループ毎に分かれてトータルコーディネート力・提案力を学びます。		
到達目標	モデルサイズに合わせた補正、ドレスの特徴を理解した補正を目指します。 グループ毎のコーディネートでは、テーマに沿ったコーディネートを考え創作する力を身に着けます。		
授業の方法	衣装に関する知識や適切な扱い方を身に付けるために、実習形式で学んでいきます。		
評価方法	出席状況15%、授業態度5%、実技テスト80%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	他科目の授業にも意欲的に取り組み、ブライダルの知識を深め他の授業にも活かしてください。		
使用教材教具	ドレス・タキシード・裁縫道具		
留意点	特になし		

授業計画	
1	学園祭準備①フィッティングを行い、モデルの体系に合わせてドレスを直していく。
2	学園祭準備②
3	学園祭準備③
4	ドレスメンテナンス① 夏SP、学園祭に使用したドレスクリーニング・小物メンテナンスを行う。
5	ドレスメンテナンス②
6	トータルコーディネート ～チーム毎テーマに合わせたトータルコーディネート ドレス決め、小物合わせ、フィッティング、お直し ①ド
7	テーマ別トータルコーディネート フィッティング、お直し、最終フィッティング ②
8	テーマ別トータルコーディネート ③各チーム毎発表
9	トータルコーディネート ～チーム毎テーマに合わせたトータルコーディネート ドレス決め、小物合わせ、フィッティング、お直し ①ド
10	テーマ別トータルコーディネート フィッティング、お直し、最終フィッティング ②
11	テーマ別トータルコーディネート ③各チーム毎発表
12	トータルコーディネート ～チーム毎テーマに合わせたトータルコーディネート ドレス決め、小物合わせ、フィッティング、お直し ①ド
13	テーマ別トータルコーディネート フィッティング、お直し、最終フィッティング ②
14	テーマ別トータルコーディネート ③各チーム毎発表
15	期末テスト ドレス・タキシードのサイズ直しの練習を行う。
16	期末テスト ドレス・タキシードのサイズ直し